

日本では新しい場所に引越すと、ごみの分別のルールを確認する必要がありますね。日本の廃棄物管理の根幹にあるのは、家庭などの発生源でのごみの分別です。

一方多くの途上国では、ごみは分別されることなく家庭から出され、埋め立て地などに運ばれます。そこには、ごみの山をかき分けてリサイクルできるものを取り出し、売りさばいて生計を立てる人たちがいます。有害なものも危険なものもすべて同じように廃棄されるので、環境汚染や健康被害などの問題が引き起こされます。一方、そのような様子はごみを捨てる人たちの目に触れることはありません。

そういう途上国で生活をして私が感じたのは、分別の必要に迫られなければ、生活者はごみに対する知識も意識も高まらないということでした。「これはリサイクルできる」「これは有害だから、他のものと区別して」といった具合に分別をすると、ごみがどう処分されるのか考えざるを得ません。日本で廃棄物管理を学ぶ途上国からの研修員たちは、日本の効率的な廃棄物管理システム以上に、市民一人一人の意識の高さに感心します。それは重要なことで、一人一人がきちんとごみを分別しなければ、どんなに高性能な処分場があってもごみを適切に処分することはできません。それに、分別を私たち自身が行うことで、ごみの減量化への意識も高まります。

日本に帰国後、私は（その必要性は理解しながらも）ごみの分別が大変なので、ペットボトルは買わない、買い物では箱や包装を断るなど、分別が必要なごみを極力出さないことを意識するようにになりました。個人の意識や組織の技術や体制。日本がごみ問題で協力できることがたくさんあります。

広報室参事役 井本佐智子

プレゼント
付き!

アンケートのお願い

本誌へのご意見・ご感想や
JICAへのご質問をお寄せください。

JICAでは本誌に対するご意見やご感想、またJICAへのご質問を募集しています。巻末のアンケートはがき、Eメール、またはファクスに、氏名・住所・電話番号・職業・年齢・性別・ご希望のプレゼント番号を明記してお送りください。

*ご記入いただいた個人情報はプレゼントの発送および誌面の向上に役立てること以外の目的で使用いたしません。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

Eメール: ML_JICAPR@jica.go.jp

FAX: 03-3524-9675 (『mundi』編集部宛)

◎応募締め切り: 2018年6月15日

2018年5月号のプレゼント

- ①スリランカのお土産、象の置物 1名様
- ②書籍『列車はこの闇をぬけて』1名様 (p.37参照)
- ③Fijian Tradの「ニウバーム」1名様 (p.39参照)



定期送本のご案内

『mundi』を毎月
お手元にお届けします

申込方法

巻末の払込取扱票に、氏名・住所・電話番号・ご希望の送付期間・送付開始月号を明記の上、指定の金額(送料+手数料)を郵便局でお支払いください。入金の確認後、発送の手配をいたします。入金から1週間程度かかることもありますのでご了承ください。



*複数冊、またはバックナンバーをご希望の方は送料が異なりますので、下記までお問い合わせください。

申込先: 株式会社 木楽舎 編集企画室 (発送代行)

住所: 〒104-0044 東京都中央区明石町11-15 ミキジ明石町ビル6F

TEL: 03-3524-9572 FAX: 03-3524-9675

Eメール: ML_JICAPR@jica.go.jp

次号予告 (2018年6月1日発行予定)

6月号 特集 スポーツと開発

2020年の東京五輪誘致を契機として、スポーツを通じた開発への機運はこれまで以上に高まっています。安定した発展に不可欠なコミュニティ意識の向上や、社会的弱者のエンパワーメント、元気な身体と心の育成など、スポーツだからこそできる直接的・間接的な協力活動をお伝えします。

いつでもどこでも読める!

『mundi』バックナンバーはJICAホームページでご覧ください

<http://www.jica.go.jp/publication/mundi>



mundi

MAY 2018 No. 56

編集・発行:

独立行政法人 国際協力機構

Japan International Cooperation Agency (JICA)

〒102-8012 東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル
TEL: 03-5226-9781 FAX: 03-5226-6396 URL: <http://www.jica.go.jp/>
本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断転載を禁じます。